

カンボジア 工場労働者のための子宮頸がんを入口とした 女性のヘルスケア向上プロジェクト

Newsletter from SCGO-JSOG Project on Women's Health and Cervical Cancer

No. 17 March 2017

工場での子宮頸がん検診の準備活動が始動

1月28日より3月11日まで西野るり子医師が派遣され、6月に予定しています工場での子宮頸がん検診についての準備をカンボジア人医師達とともに開始しました。また、検診の準備の合間をぬって、国立3病院の産婦人科外来を巡回指導しました。

カンボジア再派遣～工場検診の準備～

一般財団法人 全日本労働福祉協会 旗の台健診センター
西野るり子

昨年に引き続き、1月末より3月初めまで6週間プノンペン市で活動いたしました。

今回の派遣では、6月から開始予定の「工場での子宮頸がん検診」の準備を進めました。

前回の newsletter にもあるように、今年2017年6月から、プノンペン経済特区にある3つの日系工場で、従業員対象の子宮頸がん検診が始まります。

これはカンボジア国内では初めての組織だった子宮がん検診となりますので、スムーズに遂行させること、また要精検者はコルポ診を含む2次検診に確実につなげること、また2次検診陽性者には治療(LEEP)を行い、陰性者はfollow upしていくこと、を目指しています。

さらに今回の集団検診の結果を正確に把握分析することで得られる情報は、カンボジアの子宮頸がんに対する診断・治療戦略を作るうえで、非常に貴重なものとなります。(カンボジアでは女性のがん死の1位は子宮頸がんです)

私の派遣時に、カンボジア産婦人科学会内で「工場検診準備委員会」が発足しました。委員は昨年来コルポ診断などで日本産科婦人科学会の先生方の指導を受けてきた国立3病院の医師達が主体で、週1回の会議で検診に必要なことを順次討論決定しながら、準備を進めました。

検診対象者の決定・医師看護師受付などの役割分担・検診カルテ(受診票)の作成、さらに必要物品の選定・会場や検診室のレイアウト・などなど、すべきことはたくさんあります。

苦労したのは検診用品の調達です。日本であれば医療器具でもサンプル取り寄せは簡単ですし、カタログを見たりネット検索で価格・品質などが詳細に分かりますが、カンボジアでは全て自分たちで調べて探さなければなりません。ではどうするのかというと、「こんなものが欲しい」という希望を名前だけではなく写真・絵に描くなどビジュアルなものにして事務局スタッフに見せて、医療品問屋で搜してもらうのです。私自身も事務局の下地様と共に、何回か医療品問屋街やマーケットの店めぐりをしました。

また昨年コルポ検診を指導した国立3病院を再訪して、外来診療に立ち会う機会も得られました。昨年と比べると、医師達のコルポ診の技術・診断能力が向上していただけてだけでなく、診察室内の物品の整備もされるようになっていました。昨年を通じてプノンペンに来ていただいた日本産科婦人科学会の先生方の御指導の賜物と思います。



(写真) 日本の検診時の写真を用いて説明



(写真) 準備会議では、実際に使用する器具・備品を用いたシミュレーションを実施



(写真) 医療器具問屋には医療品がびっしりと天井まで積み上げてありますが、お目当てのものがあるかどうかは??

プノンペン経済特区 (PPSEZ) での継続した健康教育活動の実施

3月24、27日に住友電装株式会社 (Sumi (Cambodia) Wiring System Co., Ltd.) にて、6月に行う子宮頸がん検診受診者を対象とした健康教育を実施しました。24日(金)には108名、27日(月)は40名の受講がありました。講義前半は、前回の「子宮頸がんについて」の講義内容を復習するとともに、後半部分は子宮頸がん検診について、受診する際の注意事項及び結果の通知内容について講義を行いました。

3月28、29、30日には、Kaneju Cambodia 工場にて「妊娠中のケア」をテーマとした第2回目の健康教室を開催しました。参加者の平均年齢が20代ということと、実際に妊娠中の受講者やパートナーが妊娠している男性受講者もあり、関心の高いトピックだったようです。講義後に多くの質問がありました。

3月31日には、日系電子部品メーカーの工場にて、女性の健康をテーマに第2回目の健康教室を開催しました。今回は、前回の参加者を上回る約140名の参加がありました。ロールプレイを担当したスタッフ2名は、長い台詞を全て暗記して臨むなど、本番に向けてしっかりと事前に準備した様子が伺えました。質疑応答の際には、自身の身体の不調や「家族計画」の講義で紹介された避妊法についての質問が寄せられました。



(写真) 当プロジェクトの医師や助産師の見守る中、工場スタッフによる健康教育



(写真) 当プロジェクトの助産師による講義



(写真) 工場の研修チームによる健康教育



(写真) 健康教育を実施する前の念入りな打ち合わせ



(写真) Kaneju 工場で健康教育を担当している研修チームの皆さん



(写真) ロールプレイの様子

KANEJU (CAMBODIA) Co., LTD. 吉田圭一さんのコメント

まずこの場をお借りして健康維持増進に関する講座を開設頂きましたカンボジア-日本産科婦人科学会子宮頸がんプロジェクトの皆様にご心より感謝申し上げます。

ここカンボジアにおいては日本では当たり前に行われている健康維持増進に関する基礎教育が行われておらず改めてその必要性を感じていた時にこの様な形でご協力頂いた事は弊社及びここに暮らす社員、そしてそのご家族に至るまでその意識の上で日々の健康維持増進に繋がる事と確信しております。

また、第一回「衛生教育と女性の身体の仕組み」、第二回「妊娠中のケア」と回を重ねる毎に参加者も和み積極的に参加して行く意識が芽生え始めた事は短時間でありながら良く練られた講座内容の賜物と考えます。

これより第三回、第四回と回を重ねる毎に社員の意識が変わり普段の生活に生かせる基礎知識を身に付けて貰えるものと確信しております。

工場で健康教室に関わっているカンボジア人スタッフの感想



General Doctor at Sumi (Cambodia) Wiring System Co., Ltd.
Dr. Pau Sopheak

It was an important time for me that I could join the Cervical Cancer Screening training and teaching Seminar on 24 and 27 March 2017 with Japanese and Cambodian midwives and Doctors. Even though, before, I had joined the Cervical Cancer Seminar already but for this time, I can understand more about the procedure of Cervical Cancer Screening Test such as: How to take Cervical Cancer Screening, How to do after we get the result from the test and some advises for all staffs and operators before taking the Cervical Cancer Screening. Moreover, it is a great opportunity for all staffs and operators of Sumi Company that can get the knowledge of Cervical Cancer and get the free cancer screening in June 2017.

In conclusion, as a representative of all staffs and operators in Sumi Company, I would like to say great thanks to your team for your hard work and spend your time to help and care about Cambodian people's health, especially, the workers in Sumi Company. We also happy to join and prepare to work hard with all of you in Cervical Cancer Screening day in June 2017. We hope your organization will continue Cervical Cancer Screening every year.



Medical staff at Sumi (Cambodia) Wiring System Co., Ltd.
Ms. Rous Thida

At the first, I would like to thank to JSOG and SCGO for training us about cervical cancer screening on 24, 27 March 2017. It was a great time for us to gain more knowledge about cervical cancer and know how to prevent and manage it. We got many useful knowledge from your training such as:

- How do women get HPV cause cervical cancer
- What happens if high-risk HPV stays in cervix
- How to take cervical cancer screening

In addition, we got some tips and advices for taking a cervical cancer screening before taking in June 2017 at PPSEZ for SUMI workers that support by your organization.

At the end, I am really happy that we have great opportunity to cooperate with your organization to improve women's health in SUMI also in Cambodia. Thank you for your time and good cooperation.

～ミニミニコラム～



(写真) HPV 検査を担当する臨床検査技師も決定！！



(写真) 3月8日の国際婦人デー(カンボジアでは国民祝日!)があり、様々な行事を開催。藤田則子先生、西野るり子先生は、国立母子保健センター病院のゆるキャラマスコット「チュナン君」と記念撮影

プロジェクトを取り巻く動き

- 1/28-3/11 : 西野るり子医師カンボジア派遣
- 3/4-3/7 : 藤田則子医師カンボジア派遣
- 3/7 : プロジェクト理事会
- 3/22-3/29 : 松本安代医師カンボジア派遣
- 3/23 : 臨床病理学・細胞学
ミーティング
- 3/24,27 : SUMI Cambodia 健康教育
- 3/28,29,30 : Kaneju Cambodia 健康教育
- 3/31 : 日系電子部品メーカー健康教育